



報道機関各位

熊本大学

平成25年度国立大学協会大学改革シンポジウム  
『熊本地域・熊本大学における地域連携に基づく地下水リーダー育成の在り方』の開催

地下水が豊かな熊本地域においては、2013年の国連“生命の水 (Water for Life)”最優秀賞(水管理部門)を受賞するなど、その先進的な地下水管理が国内外に知られています。また本学では「地下水環境リーダー育成プログラム (GelK)」でアジア・アフリカの多くの学生が学んでいます。

本シンポジウムはこれらの現状を踏まえ、各界から熊本地域や熊本大学に対する期待について講演をいただく一方、大学が地下水をテーマに育成すべき人材について紹介するものです。また、学生や地下水に関心を持つ地域住民からの意見を聞きつつ、熊本大学が目指すべき新たな教育プログラムの構築に向けた討議を行うものです。

広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

記

- 【日時】平成25年11月21日(木) 13:30~17:00
- 【場所】熊本大学工学部百周年記念館(熊本市黒髪2丁目39番1号)
- 【対象】一般市民(興味があるかたはどなたでも)
- 【参加費】無料
- 【申込方法】参加自由・入場無料

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

<http://www.gelk.info/blog/archives/142>

【お問い合わせ先】

熊本大学大学院自然科学研究科地下水環境リーダー育成国際共同拠点 (GelK)

担当：白石

TEL：096-342-3093

国立大学協会大学改革シンポジウム

# 『熊本地域・熊本大学における 地域連携に基づく地下水リーダー育成の在り方』

日時：2013年11月21日(木) 13:30～17:00 (13:00から受付開始)

場所：熊本大学工学部百周年記念館 (熊本市中央区黒髪2丁目39番1号)

入場無料・同時通訳あり

主催：熊本大学大学院自然科学研究科 地下水環境リーダー育成 国際共同教育拠点 (GeIK)

- 13:30 開会の辞 谷口 功 (熊本大学学長、GeIK代表)
- 13:40-14:20 Jayakumar Ramasamy 氏 (UNESCO Bangkok Office)  
『基調講演：Water for Life' UN-Water Best Practices Award (the process and selection of last year); Groundwater in International Agenda; Transboundary Aquifers of Asia』
- 14:20-14:40 大谷 順 (GeIKリーダー)  
『GeIKの狙いと評価、今後の展望』
- 14:40-14:50 (休憩)
- 14:50-15:10 村田信一氏 (熊本県副知事)  
『くまもとの地下水を守り抜く』
- 15:10-15:30 徳永朋祥氏 (東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)  
『地下水と地下環境と水資源 —大学教育とアウトリーチ—』
- 15:30-15:50 甲斐隆博氏 ((公財) 肥後の水とみどりの愛護基金 理事長)  
『当財団と肥後銀行の環境保全活動について』
- 15:50-16:10 今坂智恵子氏 ((公財) くまもと地下水財団 事務局長)  
『世界が認めた熊本地域の持続的な地下水保全』
- 16:10-16:20 (休憩)
- 16:20-16:50 パネル討論 川越保徳 (GeIKサブリーダー)
- 16:50 閉会の辞 滝尾 進 (GeIKサブリーダー)

総合司会：田中昭雄 (GeIK特任教授)

